（JPR報道資料）

2018年5月30日

JPR 日本パレットレンタル株式会社

JPR のパレットレンタルシステムによる環境効果への優位性

～自社パレット利用時に比べ 79.5%の CO_2削減効果～

日本パレットレンタル株式会社（代表取締役社長：加納尚美、本社：東京都千代田区、以下JPR）は、JPRレンタルパレットシステムを利用した際の環境負荷軽減効果を算出しました。

記

■目的

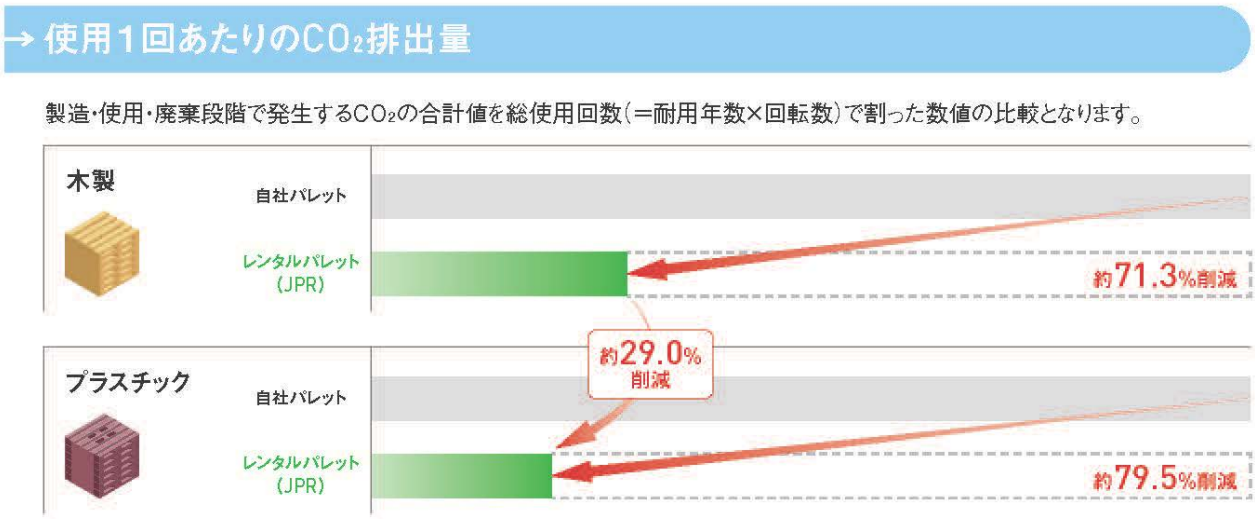
パレットの製造から廃棄までのライフサイクルにおけるレンタルパレット運用と自社パレット運用での環境負荷の相違について定量的な評価・考察を行いました。

■評価方法

ライフサイクルアセスメント（LCA）手法を用いて評価。2007～2008年の2年間、国立大学法人　東京海洋大学　海洋工学部流通情報工学科　准教授　博士（工学）　黒川久幸氏（当時）と共同研究を実施。本共同研究内容をベースに、2016年度のパレット運用実績数値を用い、株式会社環境総合テクノス（代表取締役社長　中山崇、本社：大阪市中央区）による再計算を行い、国立大学法人　東京海洋大学　学術研究院　流通情報工学部門　教授　博士（工学）黒川久幸氏に監修いただきました。

■結論

JPRレンタルパレットによる共同利用・共同回収サービスを利用した場合、各企業がそれぞれ自社パレットを使用した時に比べ、使用1回あたりのCO_2排出量が79.5%削減されることが明らかになりました（プラスチック製パレットを利用の場合）。



■主な理由

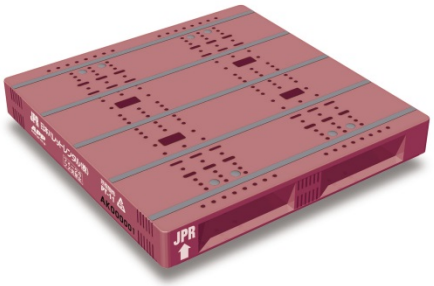
1. JPRの共同利用・共同回収システムの利用企業が約300社、年間約3000万枚の流通量
2. 共同回収システムで効率的なトラック運用が可能
3. 軽量なプラスチック製パレットの利用が木製の約6倍

■環境影響評価報告書の発行

JPRレンタルパレットをご利用いただくことがCSRにつながることを踏まえ、今回算出した結果を「環境影響評価報告書」にまとめ、お客さまに配布いたします。

■ページ数：4ページ（表紙、裏表紙含む）
■内容
① レンタルパレットの環境負荷評価について
② ＬＣＡとは
③ 自社運用とレンタル運用について
④ ライフサイクル全体のCO_2排出量
⑤ 使用1回あたりのCO_2排出量
⑥ レンタル運用でCO_2が効果的に削減できるポイント
⑦ 結論

■JPRのレンタルパレットについて



■サイズ
1100mm×1100mm
■保有枚数
約960万枚
■年間出荷枚数
約4200万枚（共同利用共同回収以外の運用も含む）

（2018年3月末現在）

■ このニュースに関するお問い合わせ先
日本パレットレンタル株式会社 営業企画部 営業企画グループ
Tel：03-6895-5215 ／ Fax：03-6895-5249 ／ Mail：pr@jpr.co.jp ／ URL：https://www.jpr.co.jp